

## 学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立八尾支援学校
校長名	古川 綾子
准校長名	山崎 夏生

開催日時	令和5年12月4日(月) 10:00 ~ 12:00
開催場所	本校 図書室
出席者(委員)数	6名
出席者(学校)数	10名
傍聴者	2名
資料	第2学期授業アンケート結果
備考	

## 議題等(次第順)

- 開式の辞
- 校長挨拶
- 報告 ・ 2学期授業アンケート結果について
- 授業見学 ①小学部 ②中学部 ③高等部
- 質疑応答
- その他
- 准校長挨拶
- 閉式の辞

## 協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 校長挨拶
  - ・ 学習発表会や修学旅行などの行事を順調に実施することができた。学習発表会は、入場制限を設けずに多数の保護者や卒業生に來校いただいた。児童生徒は日頃の練習の成果を発揮し、やり遂げた表情をしていた。小学部6年生、中学部3年生の修学旅行では、自分たちができるところをしっかりとやっていた。また、友だち同士で協力する様子もたくさん見られた。
  - ・ 近隣の上之島小学校や中学校との交流を積極的に行い、開かれた学校・地域との連携の取り組みを進めている。
  - ・ 教員の校務分掌や委員会業務の見直し、改編を行っている。会議日数や時間を減らすなどの働き方改革に繋げていきたい。
  - ・ 教員の授業力向上のため、互いの授業を見学をする「授業見学週間」を2週間設けて実施している。
- 報告
  - 【1学期授業アンケート結果について】
  - ・ 3日間の自由参観期間を実施したことにより、開かれた学校づくりを推進できた。
  - ・ 保護者の参加率は児童生徒の学年が上がるにつれて低下している。
  - ・ 全学部を通じて概ね良好な評価を保護者よりいただいているが、記述で様々な意見もあったので今後の授業改善に努めていく。
  - ・ 授業アンケートのWEB化を今後検討していきたい。
- 質疑応答
  - 【意見感想】
  - ・ 授業見学では、児童生徒に対する先生の言葉がけが丁寧であった。
  - ・ 中学部の授業で、生徒同士や生徒と先生とのやり取りが多くよい授業を見ることができた。
  - ・ 授業アンケートの肯定的意見の数値は、先生方の日頃の頑張りだと思う。

【質問および回答】

Q：生徒の進路が多岐になる中、授業アンケート記述にもあったように授業内容や課題設定に対して保護者からたくさん意見は出ているのか。

A：授業アンケートの中で「課題が実態に合わず易しかった」と記述があったのは1枚であった。教材が実態に合っていないわけではなく、難易度を工夫・操作すれば改善できることも多々ある。

Q：教育庁から校舎の老朽化などに対する予算はもらえるのか。

A：すぐに予算がつくというわけではないが、危険な施設の状況や現状の教育環境を教育庁に報告し改善の要望をしている。同時にPTAからも教育庁に要望を上げていただいている。

Q：ALT（外国語指導助手）の授業の頻度はどれくらいあるのか。

A：年間に1学年1回程度で、高等部は3回程度ある。その他にも、財団法人から講師に来ていただいて出前授業も実施している学年もある。

Q：授業アンケート項目の「授業内容が課題に適する」の否定的意見は課題が難しすぎるのか、易しすぎるのか。

A：どちらもあると思う。特に高等部は教員数が少なく、1学年を2グループ分けて授業を実施している教科もあり、グループの中でも習熟度に幅が出てしまうため授業設定の難しさが課題だと認識している。

Q：知能検査や発達検査などは取り入れているのか。

A：簡易スケールの尺度を児童生徒のアセスメントに活用する場合もあるが、学校外の本人の様子をよく知らなければ活用も難しいと感じている。

Q：水害避難訓練は実施しているか。

A：防災学習の1つとして授業で行っているが、避難訓練までは実施していない。

●准校長挨拶

- ・授業アンケート結果や記述を参考に、本人や保護者の希望を聞きながら授業改善に取り組んでいきたい。高等部では授業改善プロジェクトを立ち上げ、教員同士の情報交換を行っている。
- ・夏季休業期間中に高等部プレハブ棟の屋根に断熱材を入れる工事を行った。施設整備の老朽化については教育庁と十分に情報共有し、今後も必要な箇所から適切に改修を進めていきたい。

次回の会議日程

日程	令和6年 2月
会場	本校 図書室